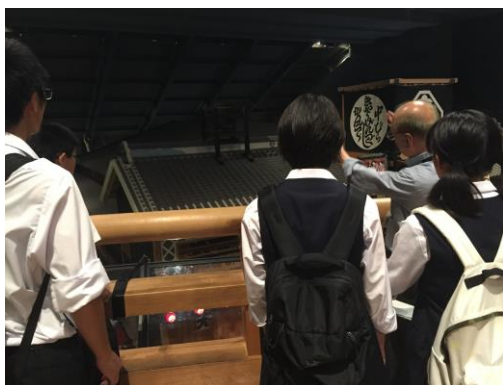


GL アクティブ（国内研修） 実施講座名 『江戸博を知ろう』

- 1 目的 グローバル化が進む現代社会の問題（例えば循環型社会の構築）と江戸時代の社会問題解決方法などを比較し、研究課題を見付ける一助とする。
- 2 日時 平成28年8月18日（木）・19日（金） 午前11時30分～午後4時30分（2日とも同一プログラム）
- 3 参加生徒 35名（1、2年）
- 4 場所 江戸東京博物館（〒130-0015 東京都墨田区横網 1-4-1）TEL 03-3626-9974
- 5 内容



江戸の町の模型



日本橋から見た江戸の町



明暦の大火について



纏を持つ生徒

## 6 生徒感想

- ・江戸の街並みと世界の街並み、昭和の戦争の現状などが、テーマに繋がると思う。
- ・江戸時代の人が、今の人よりも「エコ」だったという話は、すごく興味深かった。
- ・江戸時代の暮らしぶりから生活の知恵が感じられ、現代にももっと活用していきたいと思った。
- ・現代でも役に立つ江戸時代の暮らしの工夫が、テーマに繋がりそうだった。
- ・日本について、特に江戸時代について、よくわかった。江戸時代の農民、平民の暮らしが再現されているところは、理解しやすかったし、おもしろかった。
- ・江戸時代の身分制度の仕組みは、課題研究の重要な資料になると思った。
- ・戦争の悲惨さがよくわかったので、今が平和であることのありがたさを伝えるべきだと思う。

## 7 成果と課題

今回の「江戸博を知ろう」の実施により、アンケート5、8が大きくプラスに変化したことがわかる。今回の研修から自分たちの研究課題に繋げるかかが大きな課題である。

5月のSGHガイダンスで説明した1年生のゴール（目標）4つは、

- ① 全員が海外に自信をもって発信できる、日本の歴史、伝統、文化を語れるようにする。通史的なことではなく、自分が語れること。
- ② 研究したいグローバル社会における課題（日本を中心に考えてもよい）を見つける。（国際課題の解決に向けて、日本人に何ができるか、研究する。）
- ③ 英語のプレゼンができるようにする（プレゼンの手法も含めて）。
- ④ 課題研究の進め方を理解する。

特に今回の「江戸博を知ろう」は、①・②の参考になったと思います。